

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	Droplet digital PCR法による治療前EGFR T790M陽性の非小細胞肺癌におけるEGFR-TKIの有効性を検討する多施設共同後ろ向き観察研究
当院の診療科・研究責任者	呼吸器内科 主任医長 中村 敦
他の研究機関	西日本がん研究機構、和歌山県立医科大学付属病院等、他数施設
本研究の目的	治療前検体を用いたDroplet digital PCR (ddPCR) 法によるEGFR exon20 T790M変異の陽性例と陰性例における第1、第2 または第3 世代それぞれのEGFR-TKIの治療成功期間を比較検討し、治療前検体におけるT790M 変異検出の意義を明らかにする事です。
研究期間	倫理審査承認日～2021年8月31日
研究の方法（対象となる方）	2015年4月以降に採取された検体においてEGFR exon19 deletion または Exon21 L858R が陽性であることが確認されている非小細胞非扁平上皮肺癌患者さんです。
研究の方法（利用する情報）	対象患者さんの治療前検体を用いてddPCRを行います。症例の治療効果・治療成功期間も回収し、ddPCRによってT790M変異陽性が治療効果におよぼす影響を検討します。 (使用する検体)：保存されている腫瘍組織 4μm×10枚
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 呼吸器内科・主任医長 中村 敦
備考	